

阿波おどりエコアクション 2025 報告書



徳島市まちづくり協働プラザ
岸田 侑

01

活動概要

目的

市民、事業者、行政のパートナーシップにより、阿波おどりににおけるごみの発生抑制と再生利用及び適正処理を促進し、持続可能な祭りの運営の実現と循環型社会形成に寄与すること。

日程

令和7年8月10日、12日、13日、14日、15日

会場

藍場浜公園、新町東、ふれあい橋、両国橋、富田町周辺の5か所

実施内容

- ① まちなかクリーンアップ大作戦/会場の事前清掃
- ② エコステーション/ごみ回収と分別啓発、扇げる座布団の配布
- ③ ごみゼロ連/踊りで魅せるごみ回収部隊
- ④ 両国本町演舞場クリーンアッププロジェクト

ボランティア 参加者数

427人（10日：146人 12日：73人 13日：72人 14日：67人 15日：69人）

主催

阿波おどり未来へつなぐ実行委員会 / 徳島市まちづくり協働プラザ

協賛企業

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

02

ボランティア参加者数

延べ **427** 人のボランティアが参加



まちなかクリーンアップ大作戦 / 会場の事前清掃

8/10（土）、阿波おどり会場である演舞場周辺の清掃活動を実施。
活動には、ボランティア・学生連・一般市民など合わせて146名が参加し、
合計81袋(30ℓ規格)のごみを集めることが出来た。
(2025.8.10徳島新聞に掲載)



会場内に5ヶ所のエコステーションを設置しごみ回収と分別啓発を実施、約60,000人が利用した。その他、ステーションの利用者に向けて「扇げる座布団(環境配慮型の協賛品)」の配布を実施、5,000枚を提供した。



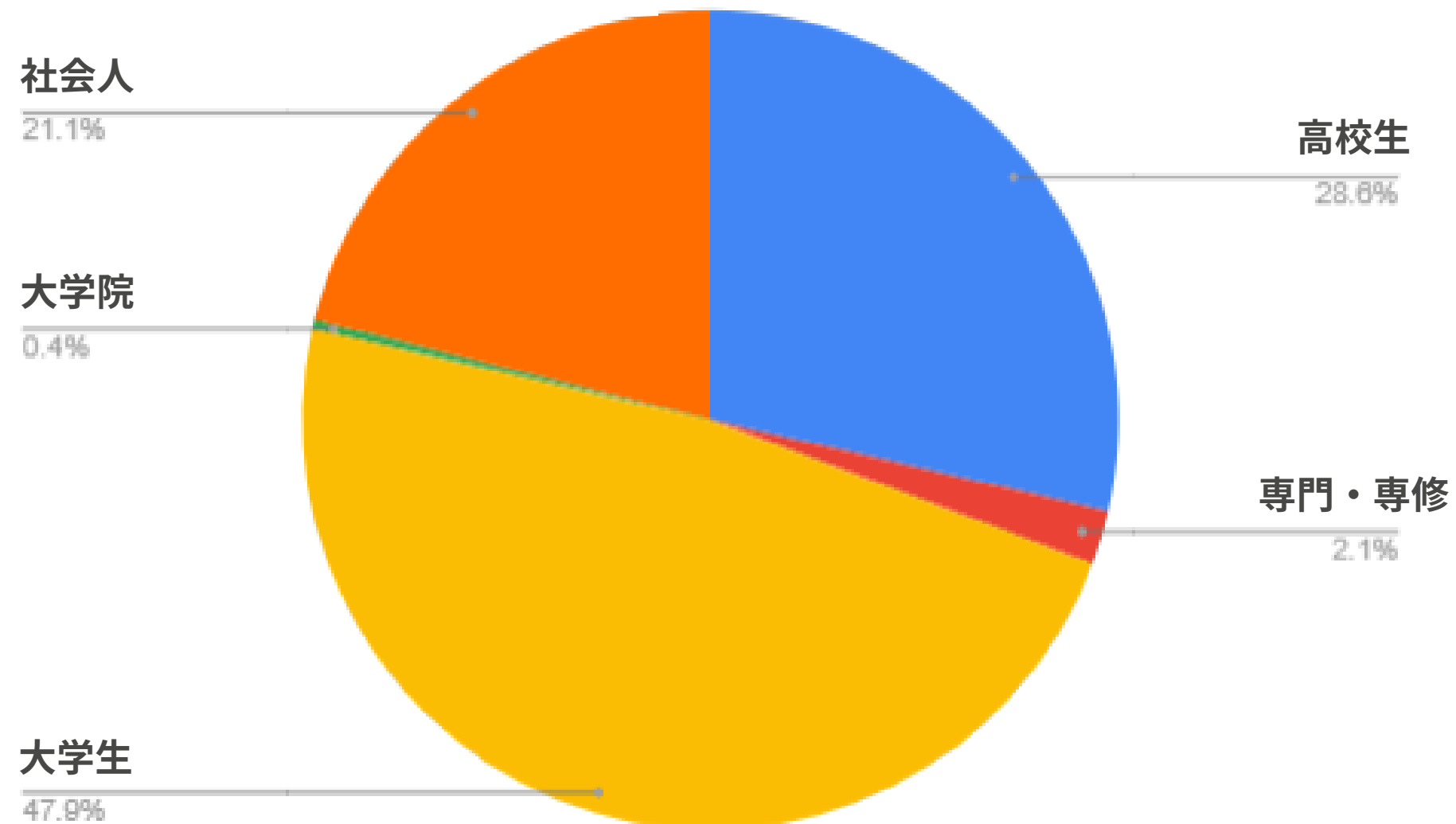


会場内に5ヶ所のエコステーションを設置し、ごみの回収と分別の啓発を実施。利用実態を把握するため、カウンターを用いて利用者数の調査を行った。



延べ **281** 人のボランティアが参加

ボランティア参加者の属性



お盆4日間の活動に281人のボランティアが参加。参加者比率が最も高かった層は大学生(47.9%)で、次いで高校生(28.6%)、社会人(21.1%)となった。

ボランティアスタッフ全体の「4分の3以上」が高校生と大学生で占められており、祭りの運営課題が多く、若者の活躍によって支えられていることが見て取れる。

ごみゼロ連 / 踊りで魅せるごみ回収部隊

阿波おどりで注目を引き付け、それを見た観客の手持ちのごみを回収するというパフォーマンスを会場内で実施。未然にポイ捨てを防ぐことを目的とし、観客から多くのごみを回収した。



両国本町演舞場クリーンアッププロジェクト

ごみゼロ連に県内大学から5つの学生連が加わり、観客からごみを回収しながら両国演舞場の最終に踊り込んだ。観客と共に演舞場を踊り切った後、「踊り子・観客・地域住民・ボランティアスタッフ」が協力して周辺のごみを拾い、演舞場周辺の美化に努めた。本プロジェクトは4日間実施し、参加者の数は全日100人を超えた。



活動実績（8月12日・13日・14日・15日）

エコステーション利用者数

延べ **59,543** 人

ごみ回収量（5ヶ所合計）

資源物（ペットボトル） **130** 袋はし・串 **82** 袋資源物（缶・ビン） **120** 袋分別頑張ったんやけど、
燃やすしかないごみ **239** 袋不燃物 **270** 袋

ボランティアリーダーは、当日参加する大勢のボランティアを統括するため、事前研修への参加を必須とした。

オンラインで開催した事前研修では、参加した12名のリーダーに対し、実際の活動エリアや声のかけ方等をレクチャーした。

研修日程

- 8/7（木） 17：00-19：00
- 8/8（金） 17：00-19：00
- 8/9（土） 13：00-15：00



徳島市まちづくり協働プラザ

〒770-0831 徳島市寺島本町西1丁目5番地アミコ東館7階

TEL：088-611-3886（担当：岸田）

Mail：machipura.tokushima@gmail.com